

研究課題名	上部消化管悪性腫瘍における予後規定因子の解析
研究責任者名	広島大学医系科学研究科消化器・移植外科学 教授 大段 秀樹
研究期間	許可日 ～2031年3月31日
対象者	<p>① 2019年10月から2029年3月までに、広島大学病院 消化器・移植外科で腹部手術を受けた患者さんのうち『上部消化管悪性腫瘍における予後規定因子の解析』(E-1789)で同意いただいた方を対象とします。(カルテデータと検体を研究に使用いたします。)</p> <p>② 2000年から2014年3月の間に広島大学病院で上部消化管悪性腫瘍の手術を行い、手術時20歳以上の方を対象とします。(カルテデータを研究に使用いたします。)</p> <p>③ 2014年4月から2024年3月までに、広島大学病院 消化器・移植外科で腹部手術を受けた患者さんのうち『消化器癌研究のためのデータベース登録』(疫-922)で同意いただいた方を対象とします。(カルテデータと検体を研究に使用いたします。)</p>
意義・目的	<p>胃癌をはじめとする上部消化管悪性腫瘍は癌死の上位を占め、今後も増加傾向にあります。基礎研究結果より、新たに判明した上部消化管悪性腫瘍の予後を規定する因子の臨床的意義を解析することによって今後の検査、治療の発展に寄与できる可能性があり、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療時に通常の採血に上乗せして採取した末梢血や手術時に切除した組織、皮下脂肪を用います。</p> <p>取得した試料・情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削除し、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p> <p>また、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、手術や化学療法の治療内容、病理検査結果などです。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)</p> <p>・利用開始予定日：本学における実施許可日(2019年10月29日)以降</p>
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学 消化器移植外科 教授 大段 秀樹
試料・情報の他機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5 2 2 2

広島大学病院消化器移植外科 職名 教授 大段 秀樹 (研究責任者)

広島大学防府消化器病センター内視鏡外科講座 職名 寄付講座助教 佐伯 吉弘 (担当者)